

前

改正

(法人課税関係の申請、届出等の様式の制定について 86)

土地の無償返還に関する届出書

受印印

国税局長 殿  
税務署長

※1 土地所有者	番号	
※2 借地人等	確認	

平成 年 月 日

土地所有者 \_\_\_\_\_ は、「借地権の設定等」により下記の土地を平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日  
 から、\_\_\_\_\_ に使用させることとなりましたが、その契約に基づき将来借地人等から無償で  
 土地の返還を受けることになっておりますので、その旨を届け出ます。  
 なお、下記の土地の所有又は使用に関する権利等に変動が生じた場合には、速やかにその旨を届  
 け出すこととします。

記

土地の表示

所在地 \_\_\_\_\_

地目及び面積 \_\_\_\_\_

住所又は所在地 \_\_\_\_\_ (土地所有者) \_\_\_\_\_

氏名又は名称 \_\_\_\_\_ (借地人等) \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_

借地人等又はその建設借地人  
所有する土地の所有権取得後

14.07 改正

(契約の概要等)

- 1 契約の種類 \_\_\_\_\_
- 2 土地の使用目的 \_\_\_\_\_
- 3 契約期間 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日
- 4 建物等の状況
  - (1) 種 類 \_\_\_\_\_
  - (2) 構造及び用途 \_\_\_\_\_
  - (3) 建築面積等 \_\_\_\_\_
- 5 土地の価額等
  - (1) 土地の価額 \_\_\_\_\_ 円 (取得価額) \_\_\_\_\_ 円)
  - (2) 地代の年額 \_\_\_\_\_ 円
- 6 特約事項 \_\_\_\_\_
- 7 土地の形状及び使用状況等を示す概図 \_\_\_\_\_

8 添付書類 (1) 契約書の写し (2) \_\_\_\_\_

(法1337-1)

後

改正

(法人課税関係の申請、届出等の様式の制定について 92)

土地の無償返還に関する届出書

受印印

国税局長 殿  
税務署長

※1 土地所有者	整理簿 番号	
※2 借地人等	確認	

平成 年 月 日

土地所有者 \_\_\_\_\_ は、「借地権の設定等」により下記の土地を平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日  
 から、\_\_\_\_\_ に使用させることとなりましたが、その契約に基づき将来借地人等から無償で  
 土地の返還を受けることになっておりますので、その旨を届け出ます。  
 なお、下記の土地の所有又は使用に関する権利等に変動が生じた場合には、速やかにその旨を届  
 け出すこととします。

記

土地の表示

所在地 \_\_\_\_\_

地目及び面積 \_\_\_\_\_

住所又は所在地 \_\_\_\_\_ (土地所有者) \_\_\_\_\_

氏名又は名称 \_\_\_\_\_ (借地人等) \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_

(土地所有者が建設借地人の場合) \_\_\_\_\_ (借地人等が建設借地人の場合) \_\_\_\_\_

建設借地人の  
種 姓 \_\_\_\_\_ 地 址 \_\_\_\_\_ 電話( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

建設借地人の  
代表者氏名 \_\_\_\_\_

借地人等又はその建設借地人  
所有する土地の所有権取得後

15.00 改正

(契約の概要等)

- 1 契約の種類 \_\_\_\_\_
- 2 土地の使用目的 \_\_\_\_\_
- 3 契約期間 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日 ~ 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日
- 4 建物等の状況
  - (1) 種 類 \_\_\_\_\_
  - (2) 構造及び用途 \_\_\_\_\_
  - (3) 建築面積等 \_\_\_\_\_
- 5 土地の価額等
  - (1) 土地の価額 \_\_\_\_\_ 円 (取得価額) \_\_\_\_\_ 円)
  - (2) 地代の年額 \_\_\_\_\_ 円
- 6 特約事項 \_\_\_\_\_
- 7 土地の形状及び使用状況等を示す概図 \_\_\_\_\_

8 添付書類 (1) 契約書の写し (2) \_\_\_\_\_

(法1337-1)

（法人課税関係の申請、届出等の様式の制定について 86）

前 正 改

- 土地の無償返還に関する届出書の記載要領
- この届出書は、法人税基本通達13-1-7《権利金の設定見合せ》に基づいて土地の無償返還の届出をする場合に使用してください。
  - この届出書は、土地所有者（借地権の抵当の場合における借地権者を含みます。以下同じ。）の納税地の所轄税務署長（国税局の調査課所管法人にあっては、所轄国税局長）に2通提出してください。
  - この届出書は、土地所有者が個人である場合であっても提出することができます。
  - この届出書の提出後において、その届出に係る土地の所有又は使用に関する権利等について次のような変動が生じた場合には、その旨を速やかに借地人等との連名の書面（2通とします。）により届け出てください。
    - 合併又は分割等により土地所有者又は借地人等に変更があった場合
    - 土地所有者又は借地人等の住所又は所在地（納税地がその住所又は所在地と異なる場合には、その納税地）に変更があった場合
    - 契約の変更又は更改があった場合
    - この届出書に係る契約に基づき土地の無償返還が行われた場合
  - 各欄の記載は次によります。
    - 「借地権の設定等」は、契約の種類に応じて該当するものを○で囲んでください。
    - 「地目及び面積」は、その土地の登記簿上の地目又は面積が現況と異なる場合には、その現況により記載してください。
    - 「住所又は所在地」には、土地所有者及び借地人等の住所又は所在地を記載しますが、納税地がその住所又は所在地と異なる場合には、その納税地を記載してください。
    - 「借地人等の所轄税務署又は所轄国税局」には、借地人等の納税地（借地人等が連帯申告法人である場合には、連帯親法人の納税地）の所轄税務署（国税局の調査課所管法人にあっては、所轄国税局）を記載してください。

- 「契約の概要等」は次により記載してください。
  - 「1 契約の種類」には、例えば「地上権の設定」、「土地の賃貸借」、「埋設権の設定」、「借地権の抵当」、「土地の借出賃借」等のように、その契約の種類を記載してください。
  - 「土地の使用目的」には、例えば「鉄骨造工場用建物の敷地として使用する」、「鉄骨コンクリート造10階建てマンションの建設のため」等のように、借地人等におけるその土地の使用目的を具体的に記載してください。
  - 「4 建物等の状況」の各欄は、借地人等がこの届出書に係る土地の上に有している建物等について、次により記載してください。
    - 「1 種類」には、建物、構築物等の別を記載してください。
    - 「2 構造及び用途」には、その建物等の構造及び用途を、例えば「鉄骨コンクリート造、店舗用」等のように記載してください。
    - 「3 建築面積等」には、その建物等の建築面積、階数、延床面積等を記載してください。
    - 「5 土地の価額等」の各欄には、その借地権の設定又は使用貸借契約をした時における当該土地の更地面積（借地権の抵当の場合にあっては、その借地権の価額）及び收受することとした時代の年額をそれぞれ記載してください。なお、「1 土地の価額」の「（財産評価額 円）」には、当該土地の財産評価額を記載してください。
- 「6 特約事項」には、例えば建物の用途制限、契約の更新等について特約がある場合に、その内容を記載してください。
- この届出書には、契約書の写しのほか、「1 土地の価額」に記載した金額の詳細の明細その他参考となる事項を記載した書類を添付してください。

（法人課税関係の申請、届出等の様式の制定について 92）

後 正 改

- 土地の無償返還に関する届出書の記載要領
- この届出書は、法人税基本通達13-1-7《権利金の設定見合せ》又は連帯親税基本通達16-1-17《権利金の設定見合せ》に基づいて土地の無償返還の届出をする場合に使用してください。
  - この届出書は、土地所有者（借地権の抵当の場合における借地権者を含みます。以下同じ。）の納税地（土地所有者が連帯申告法人である場合には連帯親法人の納税地）の所轄税務署長（国税局の調査課所管法人にあっては、所轄国税局長）に2通提出してください。
  - 「借地権の種類」は、契約の種類に応じて該当するものを○で囲んでください。
  - 「使用貸借 契約」は、契約の種類に応じて該当するものを○で囲んでください。
  - 「地目及び面積」は、その土地の登記簿上の地目又は面積が現況と異なる場合には、その現況により記載してください。
  - 「住所又は所在地」には、土地所有者及び借地人等の住所又は所在地を記載しますが、納税地がその住所又は所在地と異なる場合には、その納税地を記載してください。
  - 「借地人等の所轄税務署又は所轄国税局」には、借地人等の納税地（借地人等が連帯申告法人である場合には、連帯親法人の納税地）の所轄税務署（国税局の調査課所管法人にあっては、所轄国税局）を記載してください。

- 「契約の概要等」は次により記載してください。
  - 「1 契約の種類」には、例えば「地上権の設定」、「土地の賃貸借」、「地役権の設定」、「借地権の抵当」、「土地の使用貸借」等のように、その契約の種類を記載してください。
  - 「土地の使用目的」には、例えば「鉄骨造工場用建物の敷地として使用する」、「鉄骨コンクリート造10階建てマンションの建設のため」等のように、借地人等におけるその土地の使用目的を具体的に記載してください。
  - 「4 建物等の状況」の各欄は、借地人等がこの届出書に係る土地の上に有している建物等について、次により記載してください。
    - 「1 種類」には、建物、構築物等の別を記載してください。
    - 「2 構造及び用途」には、その建物等の構造及び用途を、例えば「鉄骨コンクリート造、店舗用」等のように記載してください。
    - 「3 建築面積等」には、その建物等の建築面積、階数、延床面積等を記載してください。
    - 「5 土地の価額等」の各欄には、その借地権の設定又は使用貸借契約をした時における当該土地の更地面積（借地権の抵当の場合にあっては、その借地権の価額）及び收受することとした時代の年額をそれぞれ記載してください。なお、「1 土地の価額」の「（財産評価額 円）」には、当該土地の財産評価額を記載してください。
- 「6 特約事項」には、例えば建物の用途制限、契約の更新等について特約がある場合に、その内容を記載してください。
- この届出書には、契約書の写しのほか、「1 土地の価額」に記載した金額の詳細の明細その他参考となる事項を記載した書類を添付してください。